

幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿

幼児期までに育ってほしい10の姿は、
 幼児教育の達成目標ではなく、
 「育ちつつある姿」です。
 赤城青少年交流の家の「ササビー広場」や
 「体育館等」での活動の中で、
 幼児の色々な姿が現れてくると思います。
 幼児の具体的な姿を通して、
 「子どもたちの育ち」を捉えてください。



遊んで身に付く36の基本的な動き

体のバランスをとる動き



体を移動する動き



物を操作する動き



●考案/山梨大学教授 中村 和彦氏 (出典:「遊んで身に付く36の基本的な動き Vol.1」国立青少年教育振興機構)